

S S T K

145号

## センター21通信

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

### ふじみ野ステラ・ウェストのバリアフリーは？

市では、令和3年3月から旧大井中央公民館を解体し、西文化施設の整備を進めており、令和5年秋にオープン予定です。愛称は「ふじみ野ステラ・ウェスト」に決定しました。図書館と文化施設が一体となった複合施設で、本格的な舞台芸術にも対応した施設となります。



センター21では建設に際しての要望書を出した上で、9月26日のふじみ野ステラ・ウェストの利用者説明会にも

ステラ・ウェスト完成予想図

### 説明会での質疑

下重：車いす駐車場に本当に車いす利用者が駐車しているかチェックはしますか？  
健全者が駐車していた場合、どのような対応を予定していますか？

文化振興課回答：専用駐車場には、車いすを利用されている方のみ駐車できますが、その他の方の駐車をどう防ぐか、健全者が駐車しているのを見つけた時の対応などは、正直まだ決まっていません。専用駐車場には、車いすを利用されている方のみ駐車できるよう何か工夫できないかなど、検討していきます。

下重：新しい施設が障害者にとって利用しやすい施設となっているか点検できる機会を設けてください。

文化振興課回答：工事終了後、建物内を見ていただく「内覧会」を実施予定です。

金子：駐車場について。設置予定では28台、仮設駐車場60台分を合わせても90台弱しかない。ホール客席数806や公民館・図書館利用者の数も考えると、明らかに

すく  
少ないと思いますが。

ぶん 文化振興課回答： ちゅうしゃ 駐車場は、今後もっと増やす予定があります。具体的には今の大井  
と 図書館を解体した後の空きスペースを駐車場として予定していま  
すが解体してみないとひろさがわかりません。さらに今後、周辺の用  
ち 地を買収できるかもしれません。現段階では、新施設の駐車場の  
ばしょ 場所、広さや、ちゅうしゃ 駐車可能台数などははっきり決まっています。

## かみ 上福岡駅東口駅前<sup>に</sup>できた歩道橋<sup>の</sup>バリアフリー化<sup>を</sup> ようぼう 要望しました。

ふじみ 野市長からの回答書(9月22日付)要約

### ① 利用者が歩道橋内で引き返してきた件について

こんご 今後このようなことがない様、歩道橋の入り口付近に、『この先、エレベーター・ス  
ろープはない』旨の案内板を設置します。

### ② スロープ・エレベーター設置について

スロープ設置できる用地確保は難しい状況です。

げんざい 現在の東口駅前広場は暫定的なものです。さらなる用地取得には期間を要しますが、  
しょうらい 将来的に、用地取得完了後、最終的な駅前広場の整備計画を検討します。

さいしゅうけい 最終形の駅前広場にエレベーターを設置するかどうかは、駅前広場の利用状況、駅舎  
かいちく 改築など、様々な観点から検討します。

ほどうきょう 歩道橋を整備したことにより、駅前広場と歩道橋に人の流れが分散され、駅舎のエレ  
ベーター・エスカレーターの混雑が緩和されたので、これまで通り、上福岡駅舎内のエレ  
ベーターを利用してください。



## —2022年「総合県交渉」報告—

8月25日と9月5日の2日に分けて、埼玉県との総合県交渉が行われました。県交渉とは、県内の障害者団体が集まり、県への要望を事前にまとめた「要望書」について、多くの障害当事者・支援者と県庁担当者が一堂に会し、活発な議論が交わされる場です。

以下、センター21に関連する要望項目と県の回答を紹介します。

### くらし・まちづくり

#### 1. 地域で暮らす障害者の支援

入所施設整備には大きな予算を取っていますが、入所施設から地域に移って暮らすための施策についてどのような具体策を講じられているのですか。

また、入所施設の待機者とはどんな方々でしょうか、私たちは「親亡き後」を心配する親の気持ちや「待機者」を作っていると考えます。

県に呼びかけます、私たちと一緒に地域で暮らす「受け皿」づくりをしませんか？



会場の様子

**回答** 施設整備の補助については、国庫補助制度が不可欠であり、毎年度、入所施設を含めた「障害児(者)施設等の整備方針」を毎年定め、国庫補助協議を行っております。現在、本県には、障害者入所施設への入所を希望されている方が約1500人おり、入所調整を行っております。

地域での住まいの場を整備するため、今年度から「重度障害者が安心して暮らせるグループホームの設置促進事業」を設けました。この事業により、重度障害者が地域で暮らせるグループホームを整備するとともに、グループホーム職員の支援能力の向上を図る研修を行います。

今後も、各関係団体の要望・意見を踏まえ、障害者が地域で暮らすことのできる「受け皿」づくりをすすめてまいります。

#### 2. 交通系 IC カードの障害割引について

私たち障害者が介助者と一緒に電車に乗るとき、駅員に障害者手帳を提示すれば介助者の分も含め運賃が半額になります。カード形式の Suica (以下、スイカ) であれば券売機で子ども運賃の切符を2枚買えるのですが、昨年にモバイル形式に切り替えたところ、そううまくいきませんでした。改札の機械で2人分の子ども料金の運賃を引き落とせたり、モバイルスイカ対応の券売機にしたりするなど、介助者がいても改札を何の支障もなく通れるように、改善のほどよろしくお願いたします。

**回答** 関東ICカード相互利用協議会(以下、協議会)が、昨年6月に令和4年度の後半に障害者割引が適用されるお客様向けの新たなICカードサービスを開始すると発表しています。

協議会は、関東圏において交通系ICカードを使ったサービスの提供を行うために設立され、交通系ICカードの相互利用を実施している鉄道事業者・バス事業者が加盟している団体です。

協議会のPASMO協議会の広報幹事社に確認したところ、昨年発表した予定に向け準備を進めているとのこと。今後について動向を注視してまいります。

## 最新ニュース

### 障がい者用Suica・PASMO、関東の鉄道で23年3月開始

協議会は、関東圏のSuica、PASMOにおいて、障がい者割引が適用される新たなICカードサービスを2023年3月中に開始する。

2021年6月に関東の鉄道事業者において、「障がい者用ICカード」の導入方針を発表していたが、今回導入時期やサービス対象、カード種類などが決定した。障がい者用Suica/PASMOが発行されるほか、介助者向けのSuica/PASMOも用意される。

サービス対象とするのは、第1種身体障害者または第1種知的障害者の大人と、障がい者本人を介護する任意の1名の利用者。大人のみが対象となる。

対象者は、手持ちのMy Suicaもしくは記名PASMOを障がい者用ICカードに変更可能。なお本人用・介護者用別々での購入や、別々での利用、単独での利用はできない。また、Apple

PayのSuica/PASMOやモバイルSuica/PASMOは、障がい者用ICカードとしては利用できない。購入場所は、JR東日本のSuicaエリア内のみどりの窓口(Suica)と、りんかい線の定期券発売窓口(りんかいSuica)、PASMO 鉄道事業者の窓口(PASMO)。購入時に、障害者手帳などを発売窓口で提示する必要がある。カードの有効期限は、購入日から1年後の同月末日まで。

利用可能エリアは、首都圏のSuica・PASMOエリアと、新潟と仙台のSuicaエリア、青森・盛岡・秋田Suicaエリア(2023年春以降サー開始)。

### 3. 鉄道駅の無人化

社会が自動化、キャッシュレス化が進んでいますが、障がい者にとっては自動化に



障がい者用Suica

生活が追い付いていかない場合があります。また、車両の乗降にかんしてホームと車両の高低差やすき間が大きすぎて単独乗降ができません。鉄道会社によっては2～3日前に事前に連絡して利用したり、降車駅との駅間連絡が取れるまで改札横に待たされたりします。駅の無人化が進むとさらにひどくなると思われます。県として県内事業体に対して安易に無人駅化するべきではない旨の指導をお願いします。

**回答** 県では、鉄道事業者に対して、「高齢者・障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」および「埼玉県福祉のまちづくり条例」の趣旨を踏まえ、高齢者・障害者等の移動に配慮した駅施設や車両の整備に努めるよう要望しております。

これまでも必要な人員配置についての要望は行っておりましたが、令和2年度より「改札係員不在時間帯の短縮及び改札係員不在時の安全対策の充実」といった内容を追加しました。

県が県内の鉄道事業者に対し、無人化すべきでないという指導する権限は持っておりませんが、今後も、必要な人員配置や安全対策について要望してまいります。

#### 4. 東武東上線朝霞台駅のバリアフリー化

表記の駅のバリアフリー化についていろんな困難な理由をあげられますが、バリアフリー化の意志があるのかどうか、あるとすればそのタイムスケジュールを教えてください。



朝霞台駅エスカレーター

**回答** 朝霞市と東武鉄道は、令和4年6月7日に、「東武東上線朝霞台駅エレベーター設置等バリアフリー整備の検討推進に関する覚書」を締結しました。朝霞市に確認したところ、

時期が明記されていませんが、朝霞台駅バリアフリー整備に関して連携・協力体制を構築し、早期設置を目指していくために締結した覚書です。

県では毎年、東武鉄道に対して、「高齢者・障害者等の利用に配慮した駅施設や車両の整備について要望しています。今後についても動向を注視してまいります。

#### 5. 県庁内のトイレにベッドの整備など

① 障害がより重度化したり、状態が変わったりして便座に移乗できなくなったりします。県庁舎内の車いす対応トイレにベッドを設置してください。

② 電動車いすの場合、県庁内のトイレが狭すぎて使えなかったり、使いにくいものが多いので改善をお願いします。

**回答** 県では、平成20年度から22年度までの3年間で、県庁舎の耐震改修を実施し、

本庁舎のバリアフリー化にも取り組んだところです。トイレのバリアフリー化についても耐震改修に合わせて実施し、その後も順次整備を進めております。

既存の県庁内のトイレはスペース的にベットの設置は困難ですが、今年度に予定している本庁舎地下トイレの一部を改修する設計業務におきまして、ベットの設置を含めた使いやすいトイレの構築を検討してまいります。

県としては、引き続き、適切にトイレのバリアフリー化を図り、障害者のある方々に使いやすい施設整備に努めてまいります。

## 10. 子宮頸がんワクチン（HPV ワクチン）について

子宮頸がんワクチン（HPV ワクチン）は2013年4月定期接種となったが、接種後体の広範囲が痛むなど多様な症状の訴えが相次ぎ、同年6月に定期接種の位置付けは維持する一方、個別に接種を呼びかける「積極的勧奨」は中止してまいりました。

しかし、今年4月から厚生労働省は子宮頸がんワクチンの接種について、安全性や効果を検討してきたが「積極的勧奨」を妨げる要素はないとして、各自自治体に接種を呼び掛ける案内状の配布を指示しました。埼玉県としてはこの厚労省の指示をどのように受け止め、対応しているのか。また、接種後副反応を訴える方への対応として、都道府県に



1ヶ所以上の協力医療機関を設け、接種医と連絡を密に取り、ワクチンの因果関係の有無に捉われず対応するようにとの事ですが、指定医院に専門的な知識のある医師はいるのでしょうか。

埼玉県には、今なお重篤な被害に苦しんでいる方がいます。今後、予想される被害者への対応をどのように考えているのでしょうか。

**回答** 県は、国の予防接種・ワクチン分科会がHPVワクチンの積極的勧奨を差し控えている状態を終了させることが妥当としたことを踏まえ、市町村が行う予防接種の際、接種対象の方に対して、ワクチンの有効性・安全性とそのリスクについて、接種前に十分説明を受ける機会を持てるように周知してまいりました。

ワクチン接種を受けるか否かは対象者、保護者が判断するものと考えており、十分納得の上で、接種を受けられるよう効果や安全性といったメリットだけでなく、実際に発生した副反応やその発生頻度といったデメリットを含めて情報提供していくことが重要と考えています。

万が一健康被害が発生するような事態が起きたら、協力医療機関を紹介するとともに、予防接種健康被害救済制度を適切に利用して対応してまいります。

## さべつとじんけん

### 1. 嵐山郷の退所状況

「嵐山郷からの退所状況」について、どのような事情で退所し、退所後どのように過ごしておられるかを数値データとして教えてください。

**回答** 令和3年度のデータでは、13名が退所しました。退所理由は、死亡8名、入院による退所2名。嵐山郷内にあるグループホームに移られた方が1名、障害者支援施設に移られた方が2名の計13名です。



参加者から意見

### 2. 出生前診断について

「優生上の見地から、不良な子孫が生まれないようにする」ことを目的に48年間存在した優生保護法が母体保護法に代わって26年経過しました。この法律の考え方の中心に「障害者は生きている価値がない、不良な子孫（命）であり世の中ではない命と位置付ける優生思想」があります。

そして、母体保護法に変わったからといってスイッチを切り替えるように人々の心から優生思想がなくなったとは考えられません。その証に、命の選別をする出生前診断が発展的に進化を続けています。このような状況について私たちは、恐怖感を持って反対しています。埼玉県としてどのようにお考えでしょうか。

**回答** 出生前診断のあり方については、厚生労働省の専門委員会において議論がされています。そのため、都道府県で独自に方針を決定することは、現時点では困難ですが、今後、埼玉県としても、国の動向等を踏まえ、適切に対応してまいります。

また国でも検査等について研修会を今年度実施する予定と聞いておりますの、職員に情報と知識をきちっと身につけるよう、こちらも市町村と手をたずさえてまいりたいと思っております。

きこう  
寄稿

鴻巣市の地域自立支援グループ「あん」の理事長だった沖田博さん（脳性麻痺）の訃報を聞いた白崎由起子さんからの寄稿です。

沖田君、田島君の思い出

この頃ふと思う事は幼い頃に埼玉療育園で過ごした日々が懐かしい・・・どこからともなく私の耳に聞こえて来たのは、「埼玉療育園で過ごした仲間たちが亡くなった」と言う知らせだ。沖田君、田島君が懐かしくて・・・急に沖田君や田島君といっしょに過ごした日々が目の前に浮かんで来ては寂しくて・・・お互いに幼くいつも先生や保母さんたちと散歩に行き行って転んで泣いてたっけなあ。又、朝よく保母さんたちの手伝いをして沖田君の着替えしてやっている時はよく大きな声が聞こえるとみんなから言われたよ。「元気な笑い声が聞こえて楽しそうね」と言われたね・・・沖田君大きな口を開けてね・・・ああ一楽しかったね。いつの間にかみんなも笑ったっけなあ。田島君はいつもみんなにお喋り掛けていたよ・・・沖田君も田島君も天国にいる仲間たちは優しかった。保母さんたちに・・・又お話や絵本を読んでもらってね・・・みんなをいつまでも見守ってね。

「街を車椅子で走れば何かにあたる」 パート1

ふじみ野市内のバリアフリーについて、これから不定期で連載していきます。

最近上福岡の市役所前にスタバが出来た。時々、気分転換に入る。さっそく入ってみた。飲み物を頼んで店員さんに運んでもらうよう頼むと「車椅子席がありますのでご案内します」と誘導された。どういう席かなあと楽しみにしていたら、写真のような丸テーブルに車椅子の絵が書いてあるだけでこれだったらお金も掛からないなあと思いました。

(下重美奈子)







協働舎レタス

通所者・入居者の「夏休みの思い出」

●茨城県で海へ行きました。お墓参りに行きました。

買い物でイオンタウンへ行きました。 宮本那々花



●インコと遊んだ。 川崎卓月 お墓参りに行きました。 今枝千加子

●スプレーギクの花の色塗りをやっていました。イオンタウンへ買い物に行きました。  
ピバホームへ行って、スケッチブックを見に行ってきました。 内藤深雪

●兄が来て、一緒に映画館へ行った。そのあと、レストランで食事した。  
テレビで高校野球を見ていた。 木村洋

●山登りと、東京に遊びに行った。楽しかった。 澤田侑樹

●お墓参りに行ったり買い物に行ったり、家でマンガを読んだりして過ごしました。  
内田唯香

●やよい軒の料理をテイクアウトしました。美味しかったです。別の日、ほかの人は  
仕事に出かけたので、留守番していました。 栗田怜奈

●回転寿司を食べに行きました。いなりとサーモンを食べました。 牛澤龍河

●総合病院へ行ったのと、買い物に行きました。 水谷亜希子

●お盆休みなので、お花を買ってお墓参りに行きました。コロナの関係で、お出かけ  
とか、大勢との食事ができないので、近場のカラオケにお出かけしました。夕食は  
弁当を買って食べました。 小田眞

●家でラジオ体操しました。 永田義之 家でゆっくりしました。 宮城陽一

●埼玉医大病院に行きました。 澤村郁子



## くまのベイカーズ



●ボーリング大会が楽しかった。景品の綿菓子がおいしかった。 八代さん

●デイズニールランドに行つてたくさん乗り物に乗つて楽しかった。  
ホテルに泊まつておいしいものを食べました。 斉藤麗奈

●移動支援で行つたヤオコーでの買い物を楽しかった。ボーリング大会で  
9位になり嬉しかった。 寺沢円里

●ボーリング大会で、みんなと勝負したことが楽しかった。 篠原真愛結

●お母さんと「ジブリ展」を観に行き、ヘッドホンで説明を聞きました。  
また、映画館で「おぼけ図鑑」を見た。 中村杏奈

●家族で秩父旅行に行きました。神社などに行けて楽しかったです。 清水しげみ

●ダンスのお仕事をしました。高階市民センターで、久しぶりにみんなの前で踊れて  
楽しかったです。 吉嶺良太郎

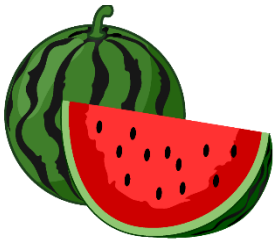
## グループホーム ひまわり



●今年は何年と違い、何回か川越の中心街に遊びに行つて充実した休みを過ごしま  
した。 落合英子

●家でゆっくり過ごしました。 吉田まなみ

●川越へお母さんとかき氷を食べへに行きました。 柴田勇子



## あら じゅうど しんたいしょうがい も きいん たんじょう 新たに重度の身体障害を持つ議員が誕生しました

7月10日（日）に行われた参議院議員選挙の結果、れいわ新選組よりまた新たに  
重度の身体障害を持つ天島大輔さんが当選されました。

### 決意

私が障がいを持ち痛感したのは、障がいがあることで、こんなにも選択肢が狭められるという厳しい現実でした。

まず直面したのは、まびの選択肢の少なさでした。養護学校（現在は特別支援学校）では、将来のために科目の勉強を希望してもかかないませんでした。大学入学には4年もかかり、やっと入学できても、通学や学びの介助に使える公的制度がなかったのです。



天島大輔 議員

また自立したいと願っても、家族がいるのにと十分な公的介助を受けられませんでした。職業選択の自由もかなり制限されました。現行のヘルパー制度（重度訪問介護制度）は、仕事中には使えないからです。

働けないことで、居場所がないと強く感じられました。社会から隔離されている、必要とされていない感覚は、生きる活力を奪います。まわりの人がみんな恨めしくおもってきました。使えるものは全部使い、自分の介助者派遣のための会社や非営利団体を立ち上げたら、自分の、そして介助者たちの居場所にもなりました。

今の日本社会は、少し人と違ったら、居場所がなくなりがちな社会です。私と同じように選択肢を奪われたり、居場所がなかったりする人がたくさんいる。政治が変われば助かる人がたくさんいる。

だから、私は国会議員になって、誰にでも「居場所のある社会」をつくりたい。それは、経済的に苦しくないだけでなく、自分が必要とされていると感じられる社会です。地域で、仕事で、いろいろなところで居場所づくりに取り組む人とつながりたい。れいわ新選組だからこそ、個人個人の経験を持ち寄り、自由に対話、議論ができると思っています。

これまで、さまざまな若い人たちの声を聞いてきた当事者として、居場所がなくて死にたくなるような社会を変えて、誰もが生きていたい、と思える社会の仕組みを、みなさんとともにつくっていきたいと思います。

きょうどうしゃ つうしん  
協働舎レタス通信



けんちょうしゅつこう ひ  
【★県庁出向の日 アンテナショップかっぼ★】

レタスでは、月に一度埼玉県庁に出向しています。  
そこは、3か月ほど前の埼玉新聞でも紹介された、  
『アンテナショップかっぼ』——。県内の数多の福祉  
事業所で生まれた授産品をはじめ、県内のいろんな  
名物が並ぶお店に出向き、移動販売を通して県庁  
職員さんに品々をご紹介しています。  
今回はそのときの様子を少しだけ。



かっぼでのおおまかな流れは、お店のそうじ  
をしたのち、必要な準備をしてから、移動販売  
に向かいます。曜日によって基本的なルートは  
決まっていますが、事業所ごとにオリジナリテ  
ィ溢れるルートがあるようです(笑)

最近では、昼食前にお弁当を配達すること  
があり、左の写真はそのメニュー一例です。  
独自の世界観を持つメンバーがいつも筆をと  
っています！

かっぼでは、県内の色んな事業所が日替わりで店番  
を担当しています。障がいの有無にかかわらず、いろ  
んな人たちが携わる場として広く親しまれています。

レタスのメンバーも、普段とは違う場所で、普段と  
は違う人たちとのかかわりの中で、つながりの幅を広  
げてもらえたらと願うばかりです。

皆さんもぜひ出かけてみてください。



◆ 第2レタスに新しく通所する仲間が入りました。

7月に喫茶歩歩担当として山口さん、菓子製造担当として清水さん、

9月より菓子製造担当で高野さん、合計3名の女性利用者さんが通所を始めました。

# くまの新聞

※右の写真は、カゴ  
いっぱい収穫した  
スイカや野菜です。



## ベーカーズの畑が大豊作です！

ベーカーズ近くに借りている畑で、沢山の野菜を育てています。ジャガイモ・人参・ナス・  
キュウリ・とうもろこし・枝豆、イチゴや西瓜も収穫できました。猛暑の中、青空班、てく  
てく班の皆が水やりや雑草取りを頑張ったおかげです。



## Tシャツを藍染してみました

初めて藍染にチャレンジしました。染める前に輪ゴムで縛った部分が模様になります。  
みんな好きな所を輪ゴムで縛り、数回に分けて染色したので、それぞれ色の濃さや模様も違うス  
テキなTシャツが出来ました。



### 7月の作業実績

- ・食事作り=17回(711食)、クッキー袋詰め=5,946袋、クッキー箱詰め=5,043箱
- ・お弁当配達=210食、ふじみ野市役所ロビー販売=4回実施(毎週火曜日)



# ホームだより



7/30(土)ホーム合同防災訓練

今年度も3ホーム合同で、毎年お世話になっているふじみ野市西消防署で防災訓練を実施しました。防災館にて、防災関連のビデオの視聴、消火器の消火訓練、119の通報訓練。どれも皆さん真剣に行っていました。また、大井総合支所の駐車場をお借りし、地震体験車も使用することができ、貴重な体験をさせていただきました。  
コロナ禍という事もあり、午前と午後に分かれ少人数での実施でした。いざという時に備えておきたいです。

ビデオ鑑賞



119通報訓練  
うまくできてよ  
かった。(Sさん)



消火訓練  
消火器での初期  
消火が難しかった。  
(Uさん)



地震車体験  
(震度5強)

とにかくこわ  
かった…!(Mさん)



訓練終了!



# ににんさんきゃく 二人三脚だより

特定非営利活動法人 上福岡障害者支援センター-21  
自立生活センター二人三脚

vol.79

P4からの続きで、総合県交渉の要望項目の中で、二人三脚の活動に関わる要望と県からの回答（一部抜粋）についてまとめました。

## 要望1 入院時の重度訪問介護（以下、重訪）の利用について

- ① 「重訪」を利用している障害支援区分6の重度障害者は、入院中も病院内で「重訪」を利用可能になりましたが、入院にあたり病院側を説得する必要がありません。県から医療機関に「重訪」が使えるようになったことを強く指導してください。
- ② 障害支援区分4や5の方や重度の知的・行動障害を抱える方への対象拡大を検討すべきであると国に伝えてください。
- ③ 新型コロナウイルス感染拡大状況下における重度障害者の入院について、障害の有無、年齢高低などを斟酌する余裕に医療現場には到底あるとは思えません。県としてのお考えはいかがでしょうか。



- 回答 ① 入院時の重訪の利用については、周知方法等について検討してまいります。
- ② 対象が支援区分6の方のみとなっております。これを重度訪問介護の対象である障害支援区分4以上の方に拡大するよう都道府県ブロック会議等を通じ国に要望してまいりました。今後も引き続き要望してまいります。
- ③ 陽性者の方の症状や既往所等を踏まえ、県調整本部において、入院する医療機関の調整を行っております。その方の障害の有無や年齢の高低についても調整の際に考慮した上で、入院が必要か判断し、調整にあたっております。

## 要望2 全身性障害者介助人派遣事業（以下、全身性）の対象拡大と継続

- ① 埼玉県の単独事業の全身性は、地域で暮らす障害者には必須の制度です。さらなる充実をお願いします。②また越谷市で実施している「知的障害者介助人派遣事業」を県事業として、創設を検討してください。

回答 県は、厳しい財政状況にあり、知的障害者対象の事業の創設は困難ですが、全身性は有効かつ貴重な県単独事業として、今後も予算確保に努めてまいります。





# お知らせコーナー

## 今後の予定

10月	11月
14日 協働者会議	6日 上福岡図書館祭
24日 かつぼ店番	7日 かつぼ店番
28日 ふれあい広場準備会	9日 かつぼ店番会議
29日 はんどめいどフェスタ レタspanファンフェア ベイクーズバス旅行	11日 協働者会議 福祉の仕事就職相談会 13日、28日 二人三脚研修会 25日 ふれあい広場準備会 26日 ホーム合同バス旅行

### <目次>

ふじみ野市新公共施設の利用者説明会	・ ・ ・ ・ ・ P1
上福岡東口歩道橋バリアフリー化について市長回答	・ ・ P2
2022年「総合県交渉」報告	・ ・ ・ ・ ・ P3~P7
センター21利用者(障害当事者)からの「寄稿」	・ ・ P8
センター21通所者・入居者の夏の思い出	・ ・ ・ P9~P10
重度身体障害者の国会議員が誕生!!	・ ・ ・ ・ ・ P11
各部署報告	・ ・ ・ ・ ・ P12~P15
お知らせコーナー	・ ・ ・ ・ ・ P16

## 骨格提言の完全実現を求める

### 大フォーラム

日時：11月6日(日)

13時~16時(予定)

会場：高円寺障害者交流館

または zoom で参加

(下記 web サイトから事前申し込み)

「骨格提言大フォーラム」と検索

<https://www.crpd-in->

[japan.com/daiforum2022](https://www.crpd-in-japan.com/daiforum2022)

## ふじみ野市障害者週間推進事業

### 「ふれあい広場」

日時：12月3日(土)

10時~16時30分

会場：イオンタウンふじみ野

### 編集後記

障害者権利条約に基づき、日本政府に対し政策の改善を求める「勧告」が国連障害者委員会から出された。具体的には、障害のある子どもの教育が分けられている「特別支援教育」の中止と、精神障害者に強制入院・強制治療が可能にしている制度の廃止が求められた。国連勧告を機に、障害の有無に関わらず共に学ぶ「インクルーシブ教育」の環境がより迅速に推進・整備されることを期待する。

編集人 NPO上福岡障害者支援センター21

〒356-0004 ふじみ野市上福岡 4-6-11 イシデンビル1F Te1049-264-5497

Fax049-257-7510

ホームページ&メール <http://www.k-center21.org> 領価 100円

発行人 埼玉県障害者団体定期刊行物協会

川口市芝新町 15-9 アステール藤野 1F